

仕 様 書

1 工事名

令和8年度 工房前池改良工事

2 工事目的

工房前の池及び水路において、既存豆砂利の撤去、底面清掃、下地形成、タイル張りを行い、耐久性・景観性・安全性を向上させることを目的とする。

3 工事場所

ウポポイ園内 工房前の池及び水路（位置は別添図面による）

4 工事期間

契約の始期から令和8年12月18日（金）まで

5 工事内容

本工事は、以下の作業を一連の工程として実施する。

（1）仮設工事

- ・ 作業区域の仮囲い、立入禁止措置
- ・ 池・水路の排水および水抜き設備の設置
- ・ 作業用足場・踏板の設置
- ・ 重機搬入・搬出路の確保
- ・ 安全標識・注意喚起表示の設置

※必要に応じて養生シート等を設置し、周辺環境への影響を防止する

（2）豆砂利撤去・集積・搬出

池及び水路底の既存豆砂利を手作業または小型機械により撤去する。撤去した豆砂利は袋に集積し、搬出に適した状態に整理する。汚泥・藻類・付着物を除去し、底面を露出させる。豆砂利・汚泥は産業廃棄物として法令に基づき適正に処理する。重機を利用する場合は、搬入・搬出に伴う安全管理を徹底する。

（3）池・水路底清掃

高圧洗浄機により池底・水路底の汚泥、藻類、付着物を除去する。

立上がり部（コンクリート面・景石）はブラッシングを併用し、表面の付着物を完全に除去する。下地の不陸・欠損がある場合は、ポリマーセメント系補修材等により補修する。

清掃後、下地の乾燥状態・含水率を確認し、後続工程に支障がない状態とする。

(4) タイル張り工事

底部にカチオン系下地調整材を均一に塗布する。ファイバーネットを張り込み、クラック抑制およびタイル下地の付着強度を確保する。ネットの重ね幅は規定値を確保し、浮きがないよう施工する。

セメントモルタルを敷き均し、厚さ 50mm のタイル下地を形成する。勾配は既存排水方向に合わせ、必要に応じて調整する。表面はタイル貼りに適した平滑性を確保する。水中・湿潤環境に適合する接着材を使用する。タイルは目地を通して貼り付け、圧着し、浮き・剥離がないよう施工する。立ち上がり部との接合部など、カットが必要な部分は適切に処理する。

4 成果品

- (1) 工事報告書
- (2) 工事図面一式

5 特記事項

- ・ 本仕様書に記載されていない事項、または本仕様書について疑義が生じた場合は、委託者と適宜協議すること。
- ・ 完了後、委託者立会いのもと検査を行う。